

令和8年度 中期経営計画

学校法人 大阪成蹊学園

I. 将来構想

大阪成蹊学園は、地域社会、教育機関、卒業生の方々など全てのステークホルダーの皆様の多大なるご支援のもと、令和 15（2033）年度に創立 100 周年を迎えます。少子化の進行や Society5.0 等の大きな社会変化をうけ、学校教育の在り方も変化と対応が求められていく中で、本学園ではすべての設置校で建学の精神「桃李不言下自成蹊」を体現する「人間力」ある人材を育成するため、全学的な教育改革と財務基盤の強化等に取り組み、教育研究活動と法人経営の両面で多くのステークホルダーから信頼され、選ばれる学園をめざします。

1. 相川駅前キャンパスを中心とした大阪成蹊学園の知の拠点化構想を推進
2. 社会の要請にこたえる教育研究高度化のための学部・学科等の再編を展開
3. 教育の質を保証する教学改革の高度化
4. 研究の質向上及び地域と連携した社会貢献の発展
5. 少子化に対応した強固な財務基盤の確立

II. 中期経営計画

大阪成蹊学園では、令和 7（2025）年度における学生募集の大幅な伸長を踏まえ、令和 8（2026）年度からの 5 か年の計画として、5 つの重点項目を柱とした「大阪成蹊学園 中期経営計画」を策定します。

<大阪成蹊学園 中期経営計画における 5 つの重点項目>

1. 大阪成蹊学園の教育目標の達成（「人間力」教育の確立）

- （1）建学の精神「桃李不言下自成蹊」及び行動指針「忠恕」を体現する「人間力」ある人材を育成するための全学的な教学ガバナンスの強化
- （2）ディプロマ・ポリシーに掲げる人材を育成する教育体系の充実
- （3）教育研究の高度化のための学部・学科等の再編
- （4）多様な学生が学び合う学修環境の整備充実

2. 安定的な学生募集と強固な財務基盤の確立

- （1）大阪成蹊学園のブランド力向上のための戦略的広報の展開
- （2）多面的・総合的評価を実現する入試制度の強化
- （3）学園各校の持続的発展を支える安定的な財務基盤の確立

3. 教育の質を保証し特色ある教育を展開する全学的な教学改革の推進

- （1）教学改革会議及び各プロジェクトを中心とした全学的な教学マネジメント体制の確立
- （2）「大阪成蹊 LCD 教育プログラム」を核とする全学的な「人間力」教育の展開
 - * 「大阪成蹊 LCD 教育プログラム」: Literacy（知識を活用して課題を解決する力）、Competency（自分を取り巻く環境に実践的に対処する力）、Dignity（徳、品格、品性）の 3 つの力を養う本学独自の教育プログラム

- (3) 学園運営を核とした理事長のリーダーシップ、学長を中心に副学長、学部長、本部長、部長等の幹部が中核的役割を担うことによる組織機能の強化

4. 学生・生徒の成長を後押しする教職協働型の支援体制の強化

- (1) 個々の学修状況や学生生活状況に応じた教職協働による指導・支援の充実
- (2) 学びの専門性を活かした業種・業態への就職の強化
- (3) 免許・資格取得等に向けた支援体制の充実
- (4) グローバル・マインドを育む国際交流プログラムの充実と支援体制の充実

5. 地域における「知」と「人」の拠点の形成

- (1) 企業や自治体等との連携による課題解決型の教育の充実
- (2) 地域及び社会貢献事業の活性化

以 上